

平成27年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

永田 壮一 (自民)

教科書採択について

問 ①採択会議で、国家観・歴史観の違いに関し公正中立で十分な議論ができているか②採択の経緯、結果の公開は。

答 ①公正中立な観点から各教科書の特徴や差異を十分に調査し採択を行う②HP等で公開予定。

自転車対策について

問 ①改正道路交通法の周知は②自転車専用道、放置自転車対策は。

答 ①HPや広報紙で周知②神田警察通りでの整備に向けて取り組む。放置自転車対策は、関係団体と協力し推進。



小林 やすお (自民)

秋葉原の迷惑バスについて

問 ①二重駐車や駐車中のアイドリング等、観光バスの迷惑駐車について、対策会議を設けるべきではないか②駐停車禁止を強調した赤色舗装地帯を、秋葉原地区でも増やすよう警察へ要請すべきではないか。

答 ①②バスを誘導する場所の確保や、赤色舗装地帯等の規制エリアの設置等は困難な課題である。しかし、東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、観光客がますます増加することを考えると、この課題への対応は必要である。どのような体制で協議すべきかを含め検討していく。



内田 直之 (自民)

小川広場・周辺環境整備

問 ①「駿河台下交差点まちづくり協議会」の進捗と整備手法は②小川広場と周辺の環境整備に関し、スポーツの視点は不可欠である。

答 ①②広場利用の経緯、周辺の開発動向等の共通認識を図っている段階。今後、スポーツ施設、福祉、芸術等、多様な要望や行政需要等を総合的に勘案し検討していく。

ヒートアイランド対策への提言

問 ヒートアイランド現象は、区で最も顕在化している環境問題である。長期的、広域的な対策と同時に、即効性が期待できるドライミスト導入を提案する。

答 省エネ性能の高い建築物への補助制度創設を検討。ドライミストについては効果や課題を検証し導入を検討。

寺沢 文子 (紡民)

マイナンバー制度について

問 ①区独自の利用について②メリット・デメリットと費用負担③区民周知の方法は④情報セキュリティの確保は。

答 ①国の基準が不明確、検討が出来ない状況②メリットは国の説明と同じ、デメリットは想定不可。費用は、今年度は当初予算で対応、来年度以降は不確定③広報紙等に掲載、ほりばた塾で説明の機会を設定④職員研修等が必須。

学校の体操服のリサイクル

問 破損等で使用できなくなった体操服をリサイクルし、速乾性、着心地の良い新製品にするプロジェクトがある。区立学校で本制度への参加を提案する。

答 体操服等のリユースは、既に他の自治体で実施校がある。関係者の意見を踏まえ、本計画の参加を検討する。

米田 かずや (公明)

生活環境条例の今後の課題

問 条例施行後13年目、路上喫煙、吸い殻が減少した。同時に喫煙場所も減少し、私道での喫煙者が増え、通行の妨げや煙の影響により住宅窓が開けられない等の問題が発生。今後の対策は。

答 地域の方々と連携を図り、パトロール等の活動を一層強化しながら、路上喫煙対策に取り組んでいく。

公園における喫煙対策について

問 公園に喫煙者が集中している。区の助成制度による屋内喫煙所確保の推進とJT支援による喫煙スポットの新設及び改修を提案する。

答 可能な限り助成制度を活用した喫煙所を設置し分散化を図る。また、個別の喫煙所の状況を再確認し、改善策についてJTの協力を求め取り組む。

岩佐 りょう子 (紡民)

地域と考える道の名称について

問 ①区内道路の通称・愛称名に関する実態把握は②東京オリンピックに向けた観光施策として、区が設定する道路通称名の推進を③交差点の番号表示と名称標識等の設置推進を。

答 ①日常の道路管理の中で情報収集等を行う②周知方法や選定審査のあり方を検討③番号表示は今後の研究課題。名称標識の設定手続きを明確化する。

介護予防できるまちづくり

問 ①介護予防の考え方は②魅力ある歩行空間、休憩場所を③歩行の動機付けとなる消費カロリーの可視化を。

答 ①若い頃から日常的な健康づくりを継続することが重要②オリンピックに向けたまちづくりの中で取り組んでいく③先進事例を研究、検討していく。